

令和7年度 第5回青森県特別支援学校総合スポーツ大会

「チャレンジボッチャ競技」実施要項

1 期 間 令和7年6月30日（月）～ 令和7年7月18日（金）

2 会 場 エントリー生徒在籍校体育館 他

3 競技方法 個人戦 ※八角的を使用し、合計点数を競う。

4 競技規則

(1) エントリー対象

- ・特別支援学校に在籍する中学部・高等部生徒を対象とする。
- ・1名につき1競技にエントリーが可能であり、ボッチャ競技にエントリーしている生徒は不可とする。

(2) クラス分け

- ① 2mクラス…八角的からの距離が2mの位置から投球する。(投球数：3球)
- ② 4mクラス…八角的からの距離が4mの位置から投球する。(投球数：5球)

(3) 競技ルール

① 選手

- ・審判が投球指示を出す前に投球してはならない。
- ・投球時、スローイングラインに体の一部や車いす等のタイヤが触れてはならない。投げた手がライン上空を越える等はよい。
- ・投球時、ランプの先はスローイングラインより前に出てはならない。
- ・投球時、臀部が車いす等のシートから離れてはならない。

② スポーツアシスタント

- ・車いす等使用者のうち、移動したり、方向を変えたりすることが機能的に困難な選手及びランプを使用する選手1名につき、スポーツアシスタントは2名まで認められる。
- ・選手の位置調整、車いす等位置調整、ボール手渡し、ランプ位置調整、ボール回収等ができる。ただし、1名はランプの調整等をし、もう1名は選手の支援をすることとする。
- ・スローイングラインから出ることはいない。
- ・選手への戦略的アドバイスを送ることはできるが、スポーツアシスタント同士でコミュニケーションをとってはならない。
- ・ランプ位置を調整するスポーツアシスタントは、競技中はプレイングエリアを振り返ることはできない。

③ 競技方法及び得点

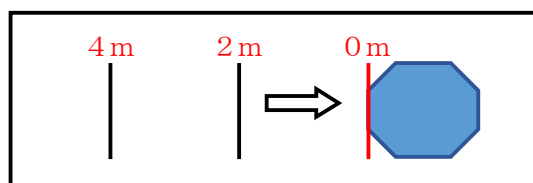
- ・1名の持ち玉は、2mクラスは3球、4mクラスは5球とし、投げる・転がす・蹴る等して得点を競う。
- ・連続して持ち玉全てを投球し終えた時点での合計得点を競う。得点は審判が真上から見て判定し、八角的中心から3点2点1点とし、八角的から外れた場合は0点とする。各得点エリアに少しでもかかっていたら大きい方の得点とする。
- ・八角的まで届かなかったボールは、それ以後の投球の妨げにならないよう平行移動させておく。
- ・ボールは全て投球し終えて、得点が確定後に回収する。

④ コート

- ・右図のコートを使用する。

⑤ 使用するボールは、各校にあるものを使用する。

⑥ ランプは、各校にあるものを使用する。 また、自作の物を使用してもよいこととする。



(4) 記録認定

- ・右表のとおり級を認定する。

	2mクラス (点)	4mクラス (点)
1級	8～9	13～15
2級	6～7	10～12
3級	4～5	6～9
4級	2～3	3～5
5級	0～1	0～2

(5) 記録認定までの流れ

- ① エントリーを希望する学校は、5月21日(水)までに、申込・記録用紙に必要事項(記録・認定級以外の項目)を記入し、ボッチャ専門部主幹校に提出する。
- ② ボッチャ専門部より認定証を各校へ配布する。
- ③ 競技終了後、各校で上記表にもとづいて記録し、級の認定を行う。
- ④ 各校で認定証に記録を記入し、生徒へ渡す。

【ボッチャ専門部主管校】

青森県立弘前第二養護学校内

委員長 大坪千佳

TEL 0172-97-2511

FAX 0172-97-2511

E-mail 2020ases008@gmail.com